

INDEX

ニュース&インフォメーション

P21

平成19年度東洋大学名誉教授授与式
平成19年度東洋大学奨学生認定式
「イノベーション・ジャパン2007」に
本学から4テーマを出展
平成19年9月卒業式を挙行

P22

「キャリア形成を考えるための
特別講演会」を実施
ハロルド・クロトー博士による
セミナーを開催
東洋書林

P23

大相撲新番付 磋牙司関 十両昇進へ
平成19年度ホームカミングデーの
お知らせ
大学祭のお知らせ

平成19年度名誉教授授与式が行われる

6月29日 金 白山キャンパススカイホールにて、永年にわたり本学の教育研究に多大な貢献をされ、今年3月に退職された12名の教員に名誉教授の称号が授与された。

授与式では、冒頭で松尾友矩学長が「これからもそれぞれの学問分野発展のために貢献されるとともに、大学の発展にも寄与していただきたい」と挨拶。その後、教員の略歴などの紹介があり、一人ひとりに称号記が贈られた。続いて法人を代表し、塚本正進理事長から「先生方が大学から離れるのは寂しいですが、今後いろいろな立場からご助言いただきたい」と挨拶を述べた。また、名誉教授を代表して田中芳則名誉教授が「伝統ある東洋大学で思う存分教育研究に専念できたことを誇りに思います」と感謝の言葉を述べた。

続いて行われた懇談会では、松尾学長から大学の現状報告があり、懇談となった。

なお、名誉教授になられたのは次の12名。()は退職時の所属。(敬称略)



末次 弘 (文学部哲学科)
森 章司 (文学部インド哲学科)
伊藤 宏見 (文学部日本文学文化学科)
三浦 敏明 (文学部英米文学科)
藤野 文雄 (文学部英米文学科)
北村 嘉行 (社会学部社会学科)
清澤文彌太 (工学部機械工学科)
森川滝太郎 (工学部電子情報工学科)
田中 芳則 (工学部環境建設学科)
佐藤 章 (工学部情報工学科)
佐々木宏茂 (国際地域学部国際観光学科)
加藤美恵子 (生命科学部生命科学科)

「イノベーション・ジャパン2007」に本学から4テーマを出展

国内大学の最先端シーズと、産業界の交流・マッチングを促進する国内最大級の間である「イノベーション・ジャパン2007 - 大学見本市」が、9月12日(水)から14日(金)にかけて東京国際フォーラム(東京・有楽町)で開催された。会場では、全国の大学から集まった最先端技術分野の知的財産が約300テーマ紹介された。

本学からは以下の4テーマを出展し、ブースを訪れた来客者に丁寧に研究内容を説明した。

【ナノテクノロジー・材料分野】

鉄筋コンクリート構造物の非破壊かつ効率的な腐食モニタリング

〔代表: 計算力学研究センター センター長 矢川元基教授〕

【バイオ・アグリ分野】

安全・安心を志向した、トータル・ベジケア・システムの開発

〔代表: 植物機能研究センター 山本浩文教授〕

抗酸化活性測定システムの開発とその高感度化

〔代表: バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター 大熊廣一教授〕

【環境・エネルギー分野】

産業廃棄物の循環利用を促進するGISデータベースシステムの開発

〔代表: 地域産業共生研究センター センター長 藤田 壮教授〕



計算力学研究センターのブースにて学長と矢川元基教授。矢川教授はこれらの研究で7月に平成19年内閣総理大臣表彰の安全功労者に選ばれた。

平成19年9月卒業式を挙行

平成19年の9月学位記授与式・卒業式が9月25日(火)白山キャンパススカイホールで行われた。この日修了・卒業を迎えたのは専門職大学院生1名、大学院生26名、学部学生94名、通信教育部生15名の計136名。式は午前10時から大学歌斉唱で始まり、大学院の学位授与、学部・通信教育部の学生への証書授与が行われた。

松尾友矩学長は告辞の中で、「21世紀の地球社会を切り開いていかなければならない皆さんへの期待は大きなものがあります。どうか、ひるまず積極的な生き方を選んでください」と述べた。続いて塚本正進理事長と校友会副会長の福島良一氏が祝辞を述べた。

最後に、在校生代表の徳田景祐さん(コンピューショナル工学科3年)が「先輩方が示してくださった手本と、諸学の基礎は哲学にありという基本理念を基に、東洋大学の更なる発展のために努力したいと思います」と送辞を、卒業生代表の伊藤賢之さん(生命科学科)が「私たちは、進む道は違えども志を高く、未来をまっすぐ見つめて、偉大なる先輩方に負けないよう、東洋大学の卒業生らしく未来を切り開いていきたい」と答辞を述べ、式は終了した。

平成19年度東洋大学
奨学生証授与式が行われる

7月18日(水)白山キャンパス井上円了ホールで、平成19年度東洋大学奨学生証授与式が行われた。

式では、今東博文学生部長から「この奨学金は、東洋大学で学んでいる学生の学費から皆さんに給付されるものです。奨学生のみなさんは奨学金の目的を理解し、自覚をもって学業とともにそれ以外の活動にも積極的に取り組んでください」との挨拶があり、集まった約350名の奨学生は、今後の学生生活に向けて気持ちを新たにしました。

続いて、奨学生を代表して第1種奨学金(学業成績優秀者奨学金)が給付される日塔明宏さん(社会心理学科4年)に目録が渡された。

日塔さんは「まさか自分が選ばれるとは思わなかった。大学院進学に向けた勉強で出費がかさんだので、奨学金はその足しにしたい。将来はカウンセラーを目指したい」と今後の抱負を語った。





このコーナーでは
卒業生や教員の著作、
大学関連の出版物を
紹介していきます。

『学食の黒澤さん』

黒澤健治 高崎経済大学の学生のみなさん 著
泰文堂 1,000円(税込)



大学生活に欠かせない“学食”。高崎経済大学の学生食堂で長年調理を担当するベテランの黒澤さんは、食堂の経営改革にあたりメニューの倍増とともに注目し、利用したのが「ひとことカード」。約3,000通から印象的なものを掲載したという本書を開くと、黒澤さんと学生との絶妙な受け答えに、思わず笑みを浮かべてしまう。少し前に話題になった『生協の白石さん』と比較されるが、書籍化の検討は以前からだったそう。こちらの黒澤さんは本学の卒業生だ。

(くろさわ けんじ / 1969(昭和44)年3月経済学部経済学科卒業)

『無限大な安吾』<東洋大学公開講演> 論文集

山折哲雄ほか 著
青柿堂 1,680円(税込)



昨年、生誕百年を迎えた我が先輩、作家・坂口安吾。それを記念して昨年度、文学部では「坂口安吾と現代」をメインテーマに、春季には「坂口安吾の文学世界」と題した公開講座を、秋季には「坂口安吾と東西文化」と題した記念講演会・シンポジウムを開催した。これら生誕百年記念行事の成果を一書にしたのがこちら。記念講演を行った荻野アンナ氏、山折哲雄氏の講演採録のほか、本学文学部の教員が各章を執筆している。改めて安吾の魅力を感じたい。

『Japonia okresu Meiji』od tradycji ku nowoczesności

ポーランド ワルシャワ大学出版局



日本語訳で『明治期の日本伝統』 伝統から近代へ。Kabuki, Hakamaなどの文化や、“Katsusika Hokusai” “Mori Ogai”などの名が並ぶ中、見覚えのある顔写真が! 『明治期の近代日本哲学の伝統的基盤』の章に “Inoue Enryo” が登場。本学の創立者、井上円了博士が遺した貢献が、世界中に高く評価されていることを、遠くポーランドの書籍で再確認できる。

さて11月には円了博士が、NHK教育テレビ「知るを楽しむ 歴史に好奇心 / 『明治サイエンス事件帖』」の第1回「こっくりさん」に挑んだ妖怪ハンター(11/8、午後10:25)にて放映されるので要チェック。番組テキストも書店で販売されています。

「キャリア形成を考えるための特別講演会」を実施

さまざまな分野で活躍される方々のお話の中からキャリア形成を考えるうえでのヒントを感じ取ってもらうプログラム「キャリア形成を考えるための特別講演会」

今年度第2回目は日本テレビ系「行列のできる法律相談所」でもおなじみの弁護士、住田裕子(すみた・ひろこ)氏が来学した。

第2回: 6月20日(水)
弁護士 住田 裕子 氏
『変革期の中で』



21世紀を担うみなさんへのメッセージ

日本社会の少子化・人口減少の進み方は先進国最速。年金・社会保障だけでなく、我が国の社会の力が減退していくおそれがあります。これからの社会を担う若者の一人ひとりが大切な宝物です。そのためにも、女性の力がこれまで以上に発揮される必要があります。我が国の社会における女性の活躍度は、先進国ではほぼ最下位。世界でベストテンに入る高い能力があるのに、社会で活躍できないのは、その人にとっても、社会にとっても、大変な損失です。内閣府では、女性が指導的地位に立つ割合を2020年までに30%とする目標を立てています。女性だからと尻込みせず、積極的にチャレンジしてください。

また、日本では、さまざまところで二極化が進んでいます。学生の学力や規範意識、そして経済力など。中・下層の底上げを図る必要がありますが、それとともに、東洋大学で高等教育を受ける方々の社会的責任(ノブレスオブリージュ)も大きくなっていることを自覚してください。

就職を考える上でのアドバイス。消費者向けの企業だけでなく、日本の強さの「ものづくり」や企業間取引をする会社にも目を向けてください。また、社会で活躍するためには少なくとも同じ会社に3年間はがんばって勤めて、スキルと人間関係を磨いてください。みなさんのこれからの活躍を大いに期待しています。

[次回予告] 学報210号で報告します。

第3回

コロンビア大学名誉教授・文学博士・日本学士院客員

ドナルド・キーン氏

『世界の中の日本』

10月25日(木) 14:40~16:10

会場: 白山キャンパス 井上円了ホール

朝霞・川越キャンパスにも映像配信します。



ハロルド・クロトー博士によるセミナーを開催

9月22日(土)午後3時から、川越キャンパス421教室において、本学学術顧問でノーベル化学賞受賞者ハロルド・クロトー博士が、若手研究者のための国際セミナーで講演を行った。このセミナーはバイオ・ナノエレクトロニクス研究センターと大学院学際・融合科学研究科が主催したもので、研究者、ポストドクター、大学院生、大学院進学を目指す学部生など約70名が参加した。

クロトー博士は今までの研究生活や、ノーベル賞受賞のきっかけとなった炭素フーラレンの発見、現在興味関心のあることについて講演し、参加者は熱心に聞き入った。

午後4時30分からは懇親会を開催。参加者がクロトー博士と記念写真を撮るなど、会場はなごやかな雰囲気につつまれた。



大学祭のお知らせ

主なイベントを紹介。詳しくは<http://www.toyo.ac.jp/gakuseikatu/gakuen.html> 各大学祭のホームページで。

第11回 雷祭 11月3日(土)~4日(日) 「Re:Start~再出発~」

3日(土)~4日(日)
国際地域学科学研究展示
3日(土)
サークル対抗選手権 15:00~16:00
昨年大好評だった女装コンテストと今年初の大縄跳びを開催!!
4日(日)
お笑いライブ 12:45~
ライブ終了後ピンゴ大会!!
生命科学部実験体験 13:45~

第45回 工学祭 11月2日(金)~4日(日) 「笑顔満開! 咲き誇れ」

2日(金)~4日(日)
研究発表会-生命の水- 10:00~17:00
2日(金)
筋肉バトル-工学部スポーツマンNO.1 決定戦 15:00~16:30
その名の通り! 工学部の猛者たちが鍛えられた筋肉を競い合います!
3日(土)~4日(日)
お笑いライブ-笑いの震源地- 15:00~16:00
3日(土)
第3回ミスターコンテスト-ミスコン再来- 13:00~15:00

第3回 朝華祭 11月3日(土)~4日(日) 「color and side Job」

3日(土)~4日(日)
各学科研究発表、模擬店
学習の成果発表に加え、個人の特技をも見つけたし個人の力とチームワークとを重ねることにより大学祭を盛り上げていきます。
3日(土)
フットサル教室・大会
体育館履きを持参して下さい
お笑いライブ-ダイジ・ボイズガールズバンド他-
4日(日)
エアロビクス体験教室
体育館履きを持参して下さい
ダブルダッチ

第43回 白山祭 11月2日(金)~4日(日) 「華 ~すべては一瞬のために」

2日(金)
東洋のやまとなでしこ2007 13:00~15:00
恒例の着物披露をはじめ、各コーナーで「やまとなでしこ」らしさをアピールしてもらいます。
3日(土)
学生プロレス2007in東洋UWF
-華麗なる戦い- 15:00~17:00
4日(日)
お笑いライブ 11:00~12:00
オール1先生からのメッセージ
-今、君に伝えたいこと- 14:00~15:20



板倉



川越



朝霞



白山

平成19年度ホームカミングデーのお知らせ

ホームカミングデーとは卒業生と母校の絆や、卒業生同士の親睦を深める、年1回の行事です。卒業生の方はゼミ・サークルのご友人などとお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時：平成19年11月3日(土)
午前10時30分~

場所：白山キャンパス

内容：10:30 - (受付開始)
11:00 - 11:50 観光関連セミナー
12:00 - 12:50 健康関連セミナー
13:00 - 14:00 式典・記念講演会
14:30 - 16:00 懇親会

その他「東洋大学のこの一年」「東洋大学の歴史」などのパネル展示、東洋大学グッズ販売、似顔絵コーナーなどを設けます。また、キャンパスツアーを行います。

対象者：卒業生全員
招待者：卒業後5,10,15,20,25,30,35,40,45,50年目以上(5年毎)
申し込み方法 氏名 住所 電話番号 卒業年 卒業した学部・学科等を明記の上FAXまたはe-mailでお申込ください。

お問い合わせ先 東洋大学総務課
TEL 03-3945-7224 FAX 03-3945-7654
e-mail soumu@hakusrv.toyo.ac.jp
URL <http://www.toyo.ac.jp>

記念講演会

このほど、東洋大学オリジナルグッズの目玉商品「東洋大地ビール」が完成しました。この地ビールは、工学部応用化学科の又重英一講師のコーディネートにより、工学部の地元・川越を拠点に展開し、世界で権威ある食品コンテストの1つ、モンドセレクションのビール部門において最高金賞を受賞した(株)協同商事で丹精込めて造られた地ビールです。

この製造責任者が、平成6年に工学部応用化学科を卒業された熊倉宏明さん、ラベルのデザインを担当したのが、昭和49年に工学部建築学科を卒業された切り絵作家の百鬼丸さんです。

今回、この東洋大地ビールの誕生に携わった3人にお集まりいただき、製造過程の苦労や裏話などを披露していただきます。



大相撲新番付 碓牙司<さがつかさ>関十両昇進へ

日本相撲協会は9月26日、大相撲九州場所(11月11日初日)の番付編成会議を開き、碓牙司<さがつかさ>(磯部改め)関(人間川部屋/本名:磯部洋之さん、平成16年3月法学部法律学科卒、静岡県三島市出身)の新十両昇進を発表した。

碓牙司関は身長167cmと小柄で体格基準(173cm、75kg)に満たない第2検査からの角界への入門。この基準が導入されてから2人目で、関取の中では最も小兵力士となる。

十両昇進に際し、碓牙司関は「関取昇進は入門時からの目標。さらに立合のあたりを強くして前に出る相撲を磨いていきたい。そして今までお世話になった方、監督、大学に恩返しをしたい。まずは8番勝って勝ち越しです」と力強くコメントした。

しこ名のとおり、技を磨き、向上心と牙をむいて戦う気持ちを忘れずに、来る九州場所で大いに土俵を沸かせることを期待したい。



編集雑記

▼ 中学時代、必ず部活動に所属しなければならなかった。その理由について説明は特になかったが、皆素直に聞き入れていたと思う。幸いなことに私には打ち込みたいスポーツがあったので、抵抗感もなかったのだが、スポーツが苦手な人や、興味ある部活動がなかった生徒にとっては納得のいかない制度だったと思う。

▼ 部活の問題と全く次元は違ったが、2009年から始まる裁判員制度でも、選ばれたら裁判に出席する義務が生じる。法務省やマスコミ等で様々な説明がなされているが、無関心な人々はまだまだ多いだろう。とはいえ、すでに国会で決定されているのだから、現実から逃避することはできない。やらされている感を取り除くことが、我々一般市民がまず取り組まなければならない事だと思ふ。

▼ 本学にとつて念願のG.P.に今年度2件採択された。各大学ともG.P.に選定されるために学内に新たなプロジェクトチームを立ち上げ、工夫し必死に努力している。大学淘汰の時代、教育力の評価基準の一つがG.P.採択率。採択数によって教育研究力を評価される。競争的資金をより多く獲得することが強い大学の証となる。

▼ しかし、この教育プログラム(G.P.)を計画通りに進めることは言うまでもなく、学生の教育にどのように付加価値を与えるか、また社会に対してどのように貢献していくかの説明責任を果たすことが大学の使命であり最も重要であるとは間違いない。(K)

▼ わが故郷は悲しいかな、寂れ度合いワーストランキング上位常連の商業地。地方都市の中心市街地の衰退に開く二ノコースといえは、きまってる。故郷の風景が映像に流れることになっている。なにせ4年連続地価下落率全国1位平成12~15年を記録。年に数回、地元友人との集えば、帰省ことに加速する寂れっぷりを嘆くことがお約束だ。

▼ 期せずして、まちづくりの話題が重なった今号。取材ではどこか故郷を重ねていた。寂れたまちを自嘲する一方で、今でも故郷の港に立ち寄っては、懐かしい潮風に励まされている。商業施設が撤退しても、変わることはない風土がそこに立つ人を包み、呼吸していることを、私は確かに感じている。(K)

▼ 伊豆の稲取にはかつて東洋大学のセミナーハウスがあった。いつか行ってみたいと思っているうちに、残念ながら閉鎖となってしまった。最近、旅行で温泉街を訪れたら、かつては栄えていたが経営が傾いて潰れてしまったと思われる廃墟のようなホテルやシャッターを下ろした土産物店をよく目にする。観光産業の厳しい現実。そんな中、苦境に立つ温泉地を救うべく稲取の町に乗り込んで行ったのが本学の学生であるということに不思議な縁を感じる。また、かつて学祖・井上円了が訪れたことがある若手県紫波町の開発に本学の教員・学生が携わっているのもまた不思議な縁。稲取と紫波とともに成功を期待したい。(Y)